

The Meteorological Society of Japan

日本気象学会春季大会 2020

2019年12月19日

日本気象学会2020年度春季大会 趣意書

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、公益社団法人日本気象学会の活動にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本気象学会では、来る2020年5月19日（水）から22日（金）まで、カルッツかわさき（川崎市川崎区富士見1-1-4）において2020年度春季大会を開催いたします。当学会は1882（明治15）年に設立され、140年近い歴史を持っております。気象学をはじめ、大気・環境科学や気候学に関する多くの分野の科学者、技術者、大学院生等の参加により、我が国における上記諸分野の研究の中核としてその発展に大きく貢献し、かつ気象災害の防止や関連産業の発展に寄与して参りました。近年は、地域的短期予報や季節予報の充実、気象情報の社会への還元等、より身近な社会問題へも貢献する一方、地球温暖化問題や環境問題等のより広い地球規模の課題へと研究対象を発展させております。現在約3,400名の会員を擁し、毎年春秋2回の全国大会の開催、研究会・講演会の開催、機関誌・学術専門誌の発行、その他の図書の刊行、研究の奨励と顕彰等の事業を広く行っております。

本大会においては全国から数百名（昨年度実績692名）の会員が一堂に会し、4日間にわたり研究発表会、懇親会、展示会等の行事を実施する予定です。大会の準備と運営に当っては、会員の奉仕活動などにより、可能なかぎり経費を切り詰めるべく努力する所存ではございますが、それでもなお学会予算と大会参加料だけでは賄い切れない出費が予想され、開催のためにはかなりの追加資金を要します。時節柄、甚だ恐縮ではございますが、本大会の趣意をご賢察下さり、別紙の「賛助金募集要項」をご覧の上、会場における展示を通じ、何分かのご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、日本気象学会は、日本学術会議地球惑星科学委員会国際大気科学協会（IAMAS）小委員会からの協力の下、「リクルートブース」を導入しております。これは、気象学会に所属する大学院生（特に博士課程）や有期雇用の研究者が民間企業にて適職に出会うための機会をご提供いただくことにより、若手・任期付研究者のキャリア形成をサポートする試みです。別紙の「リクルートブース募集要項」をご覧の上、積極的なご参加を賜りますようお願い申し上げます。

貴社の気象学・大気科学・環境科学への関与を広く会員に提示する機会として、本大会を是非ともご活用頂ければ幸甚に存じます。何卒よろしくようお願い申し上げます。

日本気象学会2020年度春季大会

大会委員長 米山 邦夫

（国立研究開発法人海洋研究開発機構 地球環境部門 大気海洋相互作用研究プログラム長）